

# 輸出事業計画

※申請者名：ナカキ食品株式会社 品目：こんにゃく加工品

## 1. 輸出における現状と課題

### 【現状】

2016年から台湾を皮切りに専属のエージェントと契約して直接輸出を開始した。同様に2021年からシンガポール・マレーシアに直接輸出を開始した。通販サイト・レストランの業務用・スーパーマーケットへの販売を強化している。2022年から中国も輸出を開始し、通販サイト・レストランの業務用・スーパーマーケットへ販売を強化している。有名なモデルを使い、弊社工場での製造現場の動画を用いて、宣伝効果を高めるアピールを行っている。また、特にアメリカとの取引では衛生管理を求められ、フードディフェンスのためFSSC22000を2020年7月に取得し、以後毎年更新している。新開発した「ヘルシーご飯」については、欧米では米食の需要が少ないので、まずは主食に米製品が食べられているシンガポール、マレーシア、台湾、中国、香港への輸出を検討する。

### 【課題】（アメリカ、中国、台湾、シンガポール、マレーシア、オーストラリア、香港、アラブ首長国連邦）

仕入、製造、加工：これらの国に販売できる余剰生産キャパシティは1ヶ月に約300,000個あり、設備も新しいため問題はないが、製造を担当する社員が不足している。製造に従事する社員を増やし、補佐役の派遣社員を教育しながら、課題解決を図る方針。一方、これらを生産できたとしても、梱包して出荷するための場所と担当する社員が不足していることが課題。また、認証については、ハラール認証が無いことが課題である。

物流：東南アジアの物流は問題無い状況。アメリカは海上運賃が下がってきたが、依然として高値安定が続いている。賞味期限の延長を各バイヤーから求められているため、殺菌条件の変更によって、1年から1年半に伸ばす準備をしている。

販売：こんにゃく加工品であることより、海外において知名度が低いことが課題である。各国の現地マーケットに応じた販促方法の創意工夫が必要である。

## 2. 輸出事業計画の取組内容

仕入、製造、加工：派遣社員や海外の実習生も入社が始まっているため（＊コロナ前と同等水準）、状況の改善が期待出来る。しかし、商品の乾燥・梱包・出荷の場所が確保出来ていないため、近くの運送業者と提携してこれらの作業を委託する予定。ハラール認証については、シンガポール、マレーシア、インドネシアなどのオーダーが増えてきた場合、取得を検討する予定。

物流：賞味期限の延長は、殺菌条件の強化と包装資材の酸素通過のバリア度をあげることで、伸ばすことで問題解決を図る。

販売：弊社の商品は他社に類を見ない独特の商品のため、海外での展示会などに積極的に出品し、商品の特徴を再度周知させ、「どこの国がどのような提案をしたら売れるようになったか」を情報収集して、各エージェントに情報発信しながら拡散させていく方針。

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

### PLAN（計画）

現地法人、JETROからの情報を元に計画（概ね4半期ごと）。新しい機械整備については追加投資が伴うため、機械メーカー、行政、金融機関との調整を図りながら対応していく。

### DO（実行）

計画を元に製造・輸出の実行。特にアメリカに対してコンテナ不足による物流停滞などによる変化に対応。新しく機械整備した場合は、メーカーや保守点検業者と連絡を取りながら安定稼働を図る。

### CHECK（確認）

概ね4半期ごとに経営会議を実施し、国内事業も含めた全体事業の中で輸出事業の必要性・採算性について評価を行う。金融機関の意見も聞きながら、今後の方向性を決定。

### ACTION（改善）

把握された改善点を踏まえ、事業内容を見直して、必要に応じて上記関係機関からも意見を聴取する。

輸出事業計画

※申請者名：ナカキ食品株式会社 品目：こんにゃく加工品

4. 輸出目標額

| こんにゃく加工品<br>(ライス・ヌードル) |          | 現状<br>(令和4年 度)                                                                                           | 目標年<br>(令和7年 度)                                                                                              | 備考                                 |
|------------------------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 愛知地区                   | 輸出額(千円)  | 30,100<br>(アメリカ3,500)<br>(中国 4,500)<br>(台湾 7,200)<br>(シンガポール・マレーシア2,400)<br>(香港 12,000)<br>(その他 500)     | 85,000<br>(アメリカ15,000)<br>(中国 25,000)<br>(台湾 17,000)<br>(シンガポール・マレーシア4,000)<br>(香港 15,000)<br>(その他9,000)     | 令和5年度<br>よりオーストラ<br>リアの輸出が<br>ほぼ確実 |
|                        | 輸出量 (kg) | 56,200<br>(アメリカ7,000)<br>(中国 9,000)<br>(台湾 14,400)<br>(シンガポール・マレーシア 4,800)<br>(香港 20,000)<br>(その他1,000 ) | 165,000<br>(アメリカ30,000)<br>(中国 50,000)<br>(台湾 34,000)<br>(シンガポール・マレーシア 8,000)<br>(香港 25,000)<br>(その他 18,000) |                                    |

| こんにゃく加工品<br>(ヘルシーご飯) |          | 現状<br>(令和4年 度) | 目標年<br>(令和7年 度)                                                                          | 備考 |
|----------------------|----------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 愛知地区                 | 輸出額(千円)  |                | 30,000<br>(中国 12,000)<br>(台湾 6,000)<br>(シンガポール・マレーシア 3,000)<br>(香港 6,000)<br>(その他3,000)  |    |
|                      | 輸出量 (kg) |                | 48,000<br>(中国 19,200)<br>(台湾 9,600)<br>(シンガポール・マレーシア 4,800)<br>(香港 9,600)<br>(その他 4,800) |    |